

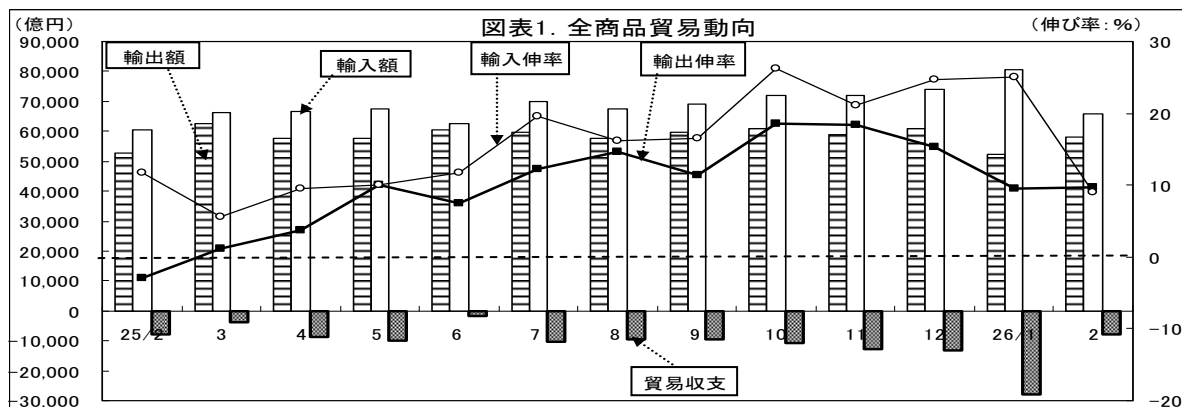
最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出、10ヶ月連続プラス、為替要因除き2ヶ月ぶり増加～

日本機械輸出組合 2014.4.14.

平成26年2月の機械輸出額は3兆7,334億円、対前年同月比10.7%増と10ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②EU、中国向けが二桁増になったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車の伸びが4.9%増となったことに加え、産業機械等が二桁増になったことなどによる。為替・営業日・春節が8.6%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.1%増と再びプラスとなった。3月も円安が続き、営業日や春節の影響を考慮すると、合計5.5%の増加要因となる。仮に2月の機械輸出額の実質的伸び(2.1%増)が続くとすれば、前年比7.6%増と予想されるが、4月8日発表の貿易統計速報によれば、3月上中旬の機械輸出は7.6%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は12ヶ月連続でプラス、輸入は10ヶ月ぶりに一桁増～

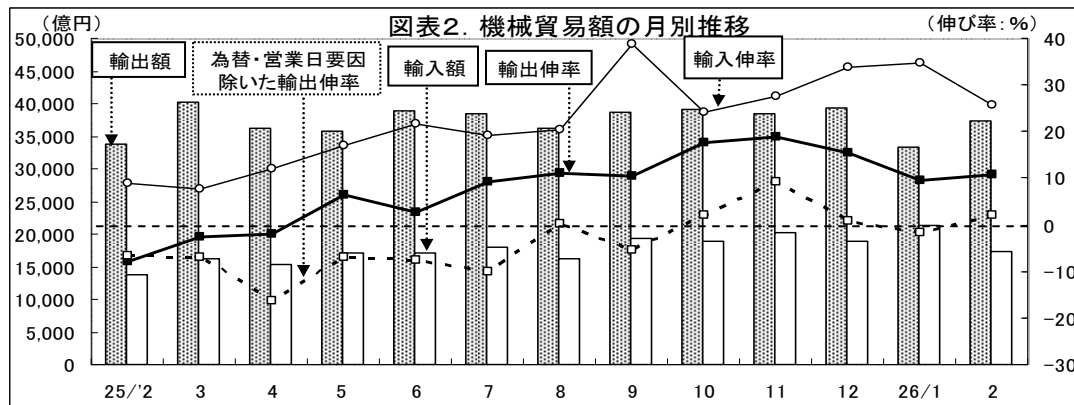
- 平成26年2月の全商品輸出額は5兆7,993億円、前年同月比(以下同じ)9.8%増と12ヶ月連続でプラスとなった(1月9.5%増)。これは円高是正による輸出額の増加と全輸出額の約11%を占める有機化合物・プラスチック等化学製品(16.3%増)、約20%を占める一般機械(14.1%増)、16%の電子部品・電気計測機器等電気機器(10.7%増)等の増加が寄与した。
- 輸入額は6兆6,018億円、9.0%増と10ヶ月ぶりの一桁増となり(1月25.1%増)、昨年5月以来9ヶ月ぶりに輸出の伸び率を下回った。これは、全輸入額の約13%を占める電子部品等電気機器(22.4%増)、8%の一般機械(23.5%増)、4%の自動車等輸送用機器(49.4%増)等が増加したものの、円高是正効果が弱まってきたことに加え、37%を占める原粗油等鉱物性燃料(4.2%増)の伸びが鈍化したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は8,025億円の赤字で、昨年9月以来5ヶ月ぶりに1兆円を下回った。しかし、2月としては1979年以来最大の赤字であった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出10ヶ月連続、輸入は18ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める2月の機械輸出額は3兆7,334億円、10.7%増と10ヶ月連続でプラスとなった(1月9.5%増)。しかし、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年2月)と比べると78.7%となり、前月よりやや回復した(1月75.9%)。
- 一方、全商品輸入額の26%を占める機械輸入額は、1兆7,265億円、25.6%増と18ヶ月連続の増加で、7ヶ月連続で20%を超える高い水準が続いている(1月34.7%増)。また、輸入額は、平成20年2月の116.7%と、11ヶ月連続してリーマンショック前の水準を上回っている(1月124.0%)。

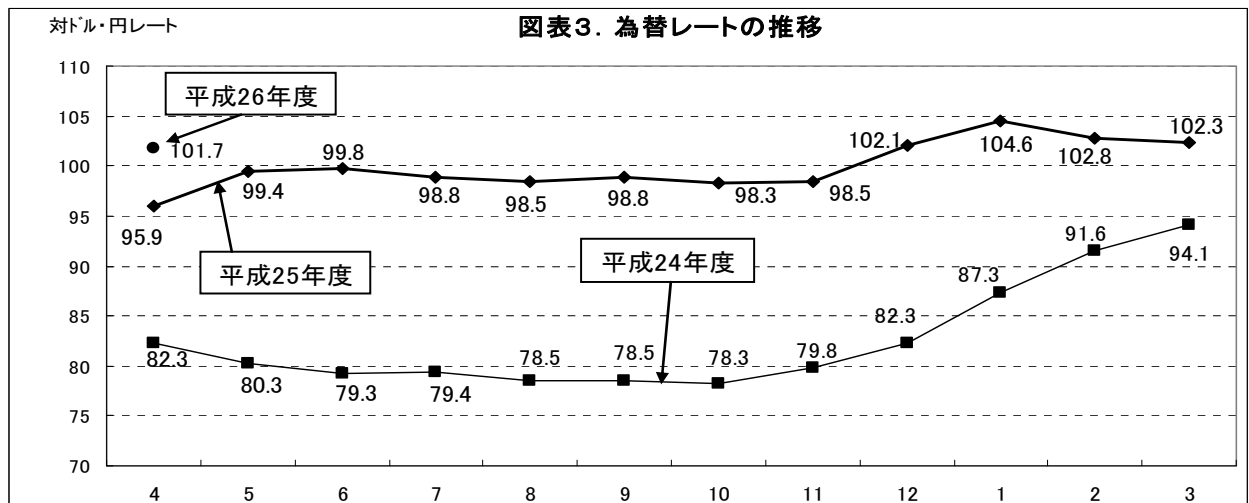


(2) 為替動向・営業日～2月は8.6%の増加要因、3月は5.5%の増加要因に縮小～

1) 2月は1ドル＝102.8円と円高是正がやや弱まり、前年に比べ12.2%の円安となった。また、対ユーロも139.8円と前年に対して13.3%と円安が弱まり、合わせて約7.3%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるが春節の影響で1.3%の増加要因となり、合計8.6%の増加要因となる。2月の輸出額は10.7%増であったことから、実質的伸び率は2.1%増と再びプラスとなった(1月1.6%減)。

2) 3月は1ドル＝102.3円と円高是正傾向が続き、前年に比べ8.7%の円安となった。また、対ユーロでは140.9円で前年に対し14.2%の円安となり、合わせて約5.5%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じであるため、合計5.5%の増加要因となる。

3) 4月は、対ドルが4月10日17:00時点の101.7円とすれば、前年に比べて6.0%の円安、また、対ユーロも141.0円と13.8%の円安となり、合わせると約4.0%の為替増加要因となる。営業日は前年と同じであるため、合計で4.0%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国・EU向けが二桁増を維持、北米向けは11ヶ月ぶりに一桁増～

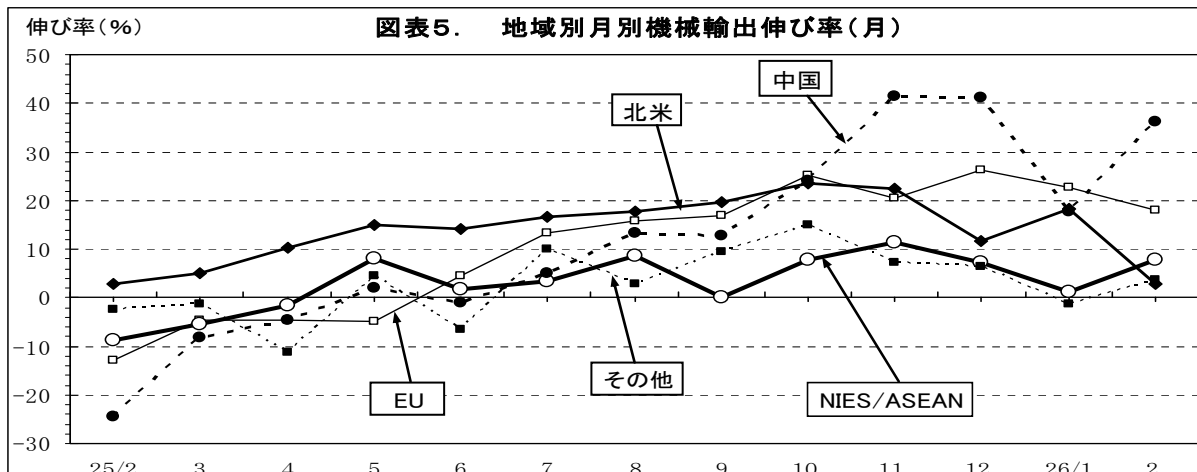
1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①機械輸出額の17.1%を占める中国向けでは、半導体製造装置等産業機械(58.7%増)、自動車(54.8%増)、光学機械(41.6%増)等が大きく伸び、36.1%増となった。②11.6%を占めるEU向けは、全体の約32%を占める自動車(25.7%増)をはじめ、18%の産業機械(21.6%増)、分析・試験・検査機(29.8%増)、重電気機械(23.9%増)が大幅にプラスとなり、18.0%増と9ヶ月連続でプラスとなり、③26.2%と再び最大輸出先となったNIES/ASEAN向けでは、香港(34.2%増)、シンガポール(35.5%増)、ベトナム(33.8%増)、台湾(14.0%増)が二桁増加となったものの、タイ(13.0%減)、インドネシア(13.3%減)向けが二桁減となり、業種では、産業機械(13.3%増)、電子デバイス(13.0%増)等が増加して7.8%増となった。④21.2%を占めるその他地域向けは、大洋州(9.9%減)、アフリカ(14.4%減)、インド(18.0%減)が大幅減となったものの、中近東(19.3%増)、中南米(12.7%増)向けが二桁増となり、機種では、全体の約57%を占める自動車(2.7%増)が伸び悩んだものの、重電気機械(51.9%増)等が伸びたことにより、3.8%増となり、⑤23.9%を占める北米向けでは、産業機械(6.7%増)、重電気機械(13.9%増)が増加したものの、全体の約48%を占める自動車(0.3%減)が14ヶ月ぶりにマイナスとなり、2.9%増と11ヶ月ぶりに一桁台の伸びとなった。

2) また、リーマンショック前の平成20年2月の地域別輸出額と比較すると、中国(112%)はプラスとなったものの、NIES/ASEAN(83%)、その他地域(81%)、北米(75%)、EU(53%)は、いずれも水準以下であった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向 (単位: 億円)

	2013/12			2014/1			2014/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,273	15.5	100	33,223	9.5	100	37,334	10.7	100	0.79
北米	9,522	11.7	24.2	8,562	18.4	25.8	8,919	2.9	23.9	0.75
EU	4,755	26.3	12.1	4,365	22.6	13.1	4,323	18.0	11.6	0.53
NIES/ASEAN	10,575	7.3	26.9	8,494	1.2	25.6	9,794	7.8	26.2	0.83
中国	7,377	41.0	18.8	4,844	17.7	14.6	6,388	36.1	17.1	1.12
その他	7,044	6.4	17.9	6,958	▲1.2	20.9	7,911	3.8	21.2	0.81

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2013/11		2013/12		2014/1		2014/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,742	11.2	1,741	3.5	1,472	▲ 2.9	1,810	8.6
台湾	1,697	22.7	1,937	18.1	1,521	8.7	1,633	14.0
香港	1,665	7.2	1,578	14.4	1,184	▲ 0.3	1,472	34.2
タイ	1,768	▲ 6.1	1,718	▲ 12.1	1,396	▲ 14.2	1,562	▲ 13.0
シンガポール	992	42.2	833	16.2	746	7.5	878	35.5
インドネシア	838	10.1	932	17.4	758	11.1	757	▲ 13.3
マレーシア	703	13.2	767	4.3	583	9.0	673	▲ 2.4
フィリピン	496	▲ 0.7	489	▲ 0.4	448	4.2	513	8.0
ベトナム	456	26.8	483	26.3	320	21.2	407	33.8
その他地域								
中南米	1,957	▲ 2.5	1,984	4.4	1,880	▲ 26.9	2,319	12.7
中近東	1,831	24.6	1,917	23.9	1,627	29.8	1,848	19.3
大洋州	1,066	▲ 4.4	998	▲ 9.7	1,078	14.8	1,077	▲ 9.9
ロシア東欧等	1,043	4.8	1,060	8.3	1,335	13.3	1,368	0.5
アフリカ	703	52.9	584	0.8	609	▲ 9.8	814	▲ 14.4
インド	316	▲ 21.0	374	▲ 17.5	317	▲ 13.7	317	▲ 18.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19 業種中 2 業種がマイナス、自動車 11ヶ月連続、産業機械は 10ヶ月連続プラス～

- 業種別では、全 19 業種中 2 業種がマイナスであった。全体の約 35%の自動車(4.9%増)が 11ヶ月連続、約 18%の産業機械(17.4%増)が 10ヶ月連続でプラスとなったほか、ベアリング(20.5%増)、繊維機械(53.1%増)が 20%を超える高い伸びとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは光学機械、ベアリング、軽機械、繊維機械の 4 業種で、電子計算機が 30%台、民生用電子機械が 40%台、産業車両、通信機械は 50%台の低い水準にある。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2013/12			機種名	2014/1			機種名	2014/2			対08/2比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	13,775	18.8	35.1	自動車	11,715	12.6	35.3	自動車	12,996	4.9	34.8	0.75
産業機械	7,008	16.9	17.8	産業機械	5,508	12.7	16.6	産業機械	6,648	17.4	17.8	0.88
電子デバイス	2,956	6.1	7.5	電子デバイス	2,547	7.9	7.7	電子デバイス	2,663	8.5	7.1	0.72
軽電気機械	2,053	14.2	5.2	軽電気機械	1,659	11.6	5.0	軽電気機械	1,886	11.0	5.1	0.77
重電気機械	1,964	10.7	5.0	船舶	1,579	▲ 31.2	4.8	重電気機械	1,825	15.0	4.9	0.90
軽機械	1,573	17.0	4.0	重電気機械	1,564	14.0	4.7	船舶	1,770	17.0	4.7	0.98
民生用電子機械	1,567	10.3	4.0	軽機械	1,223	12.3	3.7	軽機械	1,435	17.9	3.8	1.08
光学機械	1,523	15.1	3.9	民生用電子機械	1,205	1.5	3.6	民生用電子機械	1,328	8.0	3.6	0.45
建設機械	1,065	15.5	2.7	光学機械	1,197	10.7	3.6	光学機械	1,317	16.5	3.5	1.11
船舶	866	▲ 2.2	2.2	建設機械	860	30.7	2.6	建設機械	901	▲ 2.1	2.4	0.61
工作機械	819	1.7	2.1	工作機械	620	▲ 2.9	1.9	工作機械	741	9.8	2.0	0.88
電子計算機	569	28.0	1.4	通信機械	457	25.5	1.4	通信機械	468	12.8	1.3	0.57
通信機械	531	21.4	1.4	電子計算機	392	5.8	1.2	電子計算機	405	▲ 7.6	1.1	0.38
医療機械	430	25.3	1.1	ベアリング	356	30.0	1.1	ベアリング	387	20.5	1.0	1.09
ベアリング	387	19.1	1.0	陸用内燃機関	308	13.0	0.9	陸用内燃機関	375	19.7	1.0	0.88
陸用内燃機関	361	9.1	0.9	医療機械	305	6.2	0.9	医療機械	369	6.7	1.0	0.94
繊維機械	235	56.4	0.6	繊維機械	164	30.2	0.5	繊維機械	308	53.1	0.8	1.02
農業機械	172	21.6	0.4	農業機械	143	11.7	0.4	農業機械	163	1.8	0.4	0.65
産業車両	123	5.6	0.3	産業車両	103	10.6	0.3	産業車両	127	15.1	0.3	0.55
19業種合計	37,976		96.7	19業種合計	31,905		96.0	19業種合計	36,112		96.7	0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ハソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～発電機、半導体製造装置等が大幅増加、繊維機械が13ヶ月連続二桁増～

- 1) 2月で10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域、NIES/ASEAN向け**発電機**(64.3%増)、②NIES/ASEAN、中国、北米向け**半導体製造装置**(60.0%増:6ヶ月連続二桁増)、③中国、その他地域、NIES/ASEAN向け**繊維機械**(53.2%増:13ヶ月連続二桁増)、④中国、北米、EU向け**産業用ロボット**(39.0%増)、⑤NIES/ASEAN、北米向け**磁気カード・ディスク等**(25.8%増)、⑥北米、EU等向け**TV**(24.2%増:5ヶ月連続二桁増)、⑦NIES/ASEAN向け**時計**(22.8%増)、⑧全地域向け**ベアリング**(20.5%増)、⑨北米、中国向け**陸用内燃機関**(19.7%増)、⑩NIES/ASEAN向け**原動力機械**(18.8%増)であった。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、録画・再生機器(44.8%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/12			2014/1			2014/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	235	56.4	半導体製造装置	1,204	67.6	発電機	135	64.3
半導体製造装置	1,443	49.4	産業用ロボット	94	35.8	半導体製造装置	1,374	60.0
電子計算機	569	28.0	TV	94	35.4	繊維機械	308	53.2
磁気カード・ディスク等	173	28.0	建設機械	860	30.8	産業用ロボット	118	39.0
電池	233	27.2	繊維機械	164	30.6	磁気カード・ディスク等	164	25.8
医療機械	430	25.3	ベアリング	356	30.2	TV	94	24.2
TV	105	24.8	通信機械	457	25.5	時計	79	22.8
農業機械	172	21.6	運搬機械	222	17.7	ベアリング	387	20.5
乗用車	7,779	21.5	乗用車	6,850	16.0	陸用内燃機関	375	19.7
通信機械	531	21.4	バルブ・コック	333	13.7	原動力機械	514	18.8
機種合計	11,670	29.7%	機種合計	10,634	32.0%	機種合計	3,548	9.5%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2013/12			2014/1			2014/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
-	-	-	発電機	56	▲45.3	録画・再生機器	7	▲44.8
機種合計	-	-	船舶	1,579	▲31.2	機種合計	7	0.0%
			原動力機械	329	▲22.8			
			デジカメ・ビデオ	289	▲15.8			
			金属加工機械	204	▲11.1			
			機種合計	2,457	7.4%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内・機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、乗用車が大幅増、携帯電話は伸びが縮小～

- 1) 2月の機械輸入伸び率は25.6%増と11ヶ月連続二桁増となり、円高是正効果と国内需要増を反映して高い伸びとなった。これは、輸入上位機種である電子デバイス(43.2%増)、電子計算機(18.3%増)、乗用車(84.5%増)、自動車部品(38.9%増)が大幅に増加したほか、医療機械(27.0%増)、白物家電(34.0%増)、航空機類(18.6%増)、分析・試験・検査機(15.9%増)、TV(63.3%増)、民生用電子部品(19.4%増)が二桁以上の増加となったためである。他方、携帯電話の伸びは2.1%増と大幅に縮小した。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、医療機械、白物家電、TV、時計、録画・再生機器、ラジオ、写真機となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(16.9%増)、EU(44.2%増)、ASEAN(29.9%増)、北米(26.8%増)、韓国・台湾(24.6%増)、その他地域(36.9%増)の順となり、全ての地域からの輸入が二桁以上であった。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2013/12				2014/1				2014/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,199	28.3	11.7	電子デバイス	2,578	58.0	12.1	電子デバイス	2,123	43.2	12.3
電子デバイス	2,130	39.4	11.3	電子計算機	2,537	31.1	11.9	電子計算機	2,012	18.3	11.7
携帯電話	1,260	40.4	6.7	携帯電話	1,415	4.4	6.6	携帯電話	1,131	2.1	6.6
乗用車	1,193	57.7	6.3	自動車部品	1,169	55.7	5.5	乗用車	977	84.5	5.7
自動車部品	1,002	57.1	5.3	乗用車	926	13.6	4.3	自動車部品	918	38.9	5.3
白物家電	700	37.8	3.7	白物家電	799	41.3	3.8	医療機械	689	27.0	4.0
医療機械	643	28.0	3.4	航空機類	701	78.5	3.3	白物家電	594	34.0	3.4
分析・試験・検査機	382	35.9	2.0	医療機械	651	21.9	3.1	航空機類	479	18.6	2.8
TV	360	38.0	1.9	民生用電子部品	420	40.7	2.0	分析・試験・検査機	409	15.9	2.4
民生用電子部品	359	49.1	1.9	分析・試験・検査機	412	44.8	1.9	TV	320	63.3	1.9
光学機械	354	10.6	1.9	光学機械	369	12.0	1.7	光学機械	312	6.8	1.8
航空機類	342	▲28.4	1.8	TV	351	62.5	1.6	民生用電子部品	307	19.4	1.8
12機種合計	10,924		58.0	12機種合計	12,328		57.9	12機種合計	10,271		59.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械